

2021最低賃金に関するアンケート集約

<全体集約>

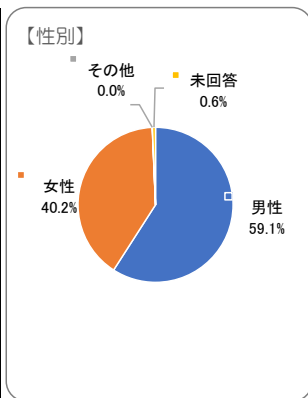
連合福井は2021年度最低賃金の取り組みとして「コロナに負けるな！クラシソコアゲ応援!!最低賃金引上げキャンペーン」と銘打ち、この間の福井県最低賃金の改正状況や隣接地域との格差などの課題を広く県民に周知し、セーフティーネットたる最低賃金の引き上げをめざしています。

具体的な取り組みとして「知っているようで知らない!?最低賃金」と題して、最低賃金という制度や福井県最低賃金の水準(課題)の周知と認知度調査を目的にアンケートを実施しました。

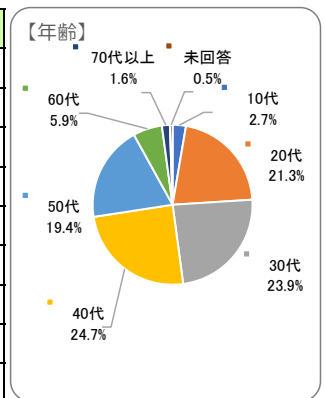
実施期間 2021年3月1日～6月14日

アンケート回答者の属性割合

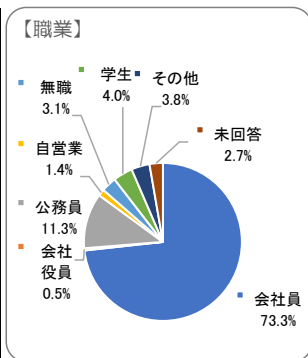
性別	集約数	構成比
男性	3,796	59.1%
女性	2,584	40.2%
その他	3	0.0%
未回答	41	0.6%
計	6,424	100.0%
上記の内外国の方	集約数	構成比
男性・外国人	5	41.7%
女性・外国人	7	58.3%
その他・外国人	0	0.0%
計	12	100.0%



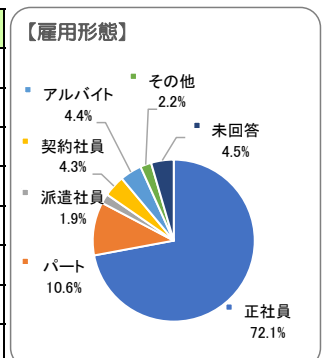
年齢	集約数	構成比
10代	173	2.7%
20代	1,368	21.3%
30代	1,535	23.9%
40代	1,586	24.7%
50代	1,246	19.4%
60代	378	5.9%
70代以上	103	1.6%
未回答	35	0.5%
計	6,424	100.0%



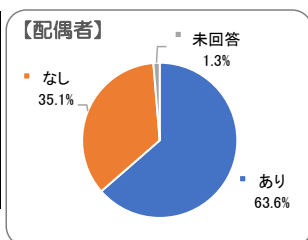
職業	集約数	構成比
会社員	4,707	73.3%
会社役員	29	0.5%
公務員	728	11.3%
自営業	88	1.4%
無職	199	3.1%
学生	257	4.0%
その他	241	3.8%
未回答	175	2.7%
計	6,424	100.0%



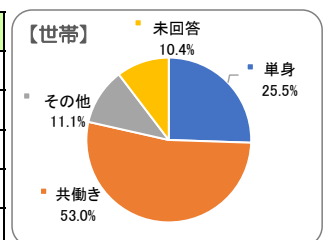
雇用形態	集約数	構成比
正社員	4,630	72.1%
パート	684	10.6%
派遣社員	122	1.9%
契約社員	276	4.3%
アルバイト	280	4.4%
その他	142	2.2%
未回答	290	4.5%
計	6,424	100.0%



配偶者	集約数	構成比
あり	4,085	63.6%
なし	2,255	35.1%
未回答	84	1.3%
計	6,424	100.0%



世帯	集約数	構成比
単身	1,640	25.5%
共働き	3,405	53.0%
その他	714	11.1%
未回答	665	10.4%
計	6,424	100.0%

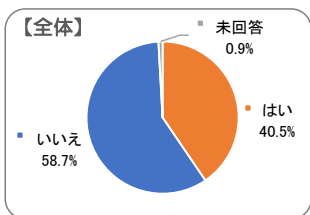


アンケート集約数	6,424 名
アンケート集約率	69.3 %

2021年6月21日 現在

Q1. 福井県の最低賃金(時給額)を知っていますか？

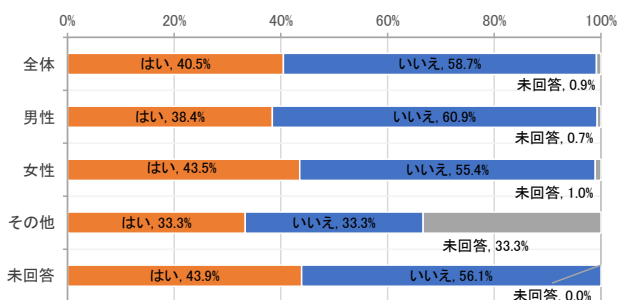
	集約数	構成比
はい	2,601	40.5%
いいえ	3,768	58.7%
未回答	55	0.9%
計	6,424	100.0%



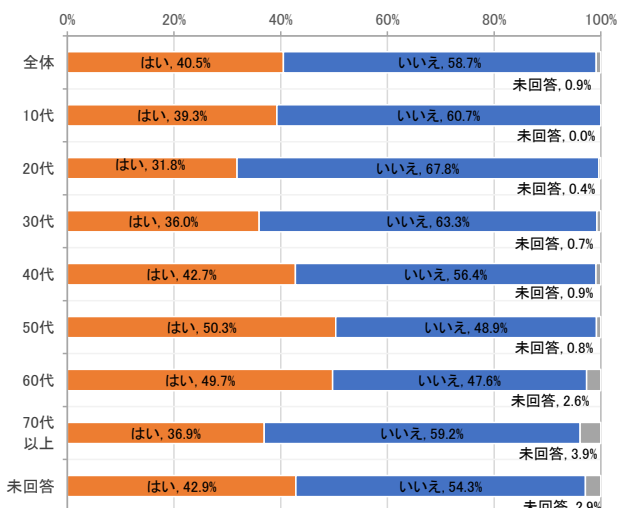
現在の福井県最低賃金が830円(時給)であることを、全体の6割の方が「知らない」と回答。特に、20代、男性、正社員の方がその割合が高くなっている。

一方、雇用形態別で見ると、パートタイマーや派遣社員、アルバイトの方は半数以上が知っているという回答し、会社役員に至っては、約6割の方が「知っている」と回答しており、労働契約を結ぶ際に労使双方が最低賃金を認識して契約していると思われる。

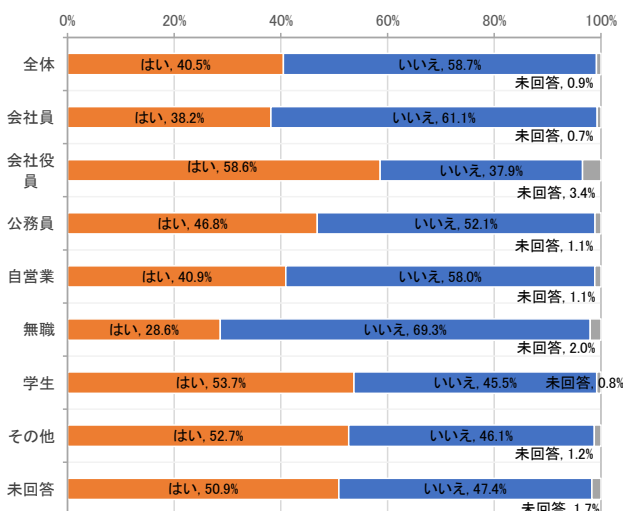
【性別】	はい	いいえ	未回答	計
計	2,601 40.5%	3,768 58.7%	55 0.9%	6,424 100.0%
男性	1,457 38.4%	2,312 60.9%	27 0.7%	3,796 100.0%
女性	1,125 43.5%	1,432 55.4%	27 1.0%	2,584 100.0%
その他	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	3 100.0%
未回答	18 43.9%	23 56.1%	0 0.0%	41 100.0%



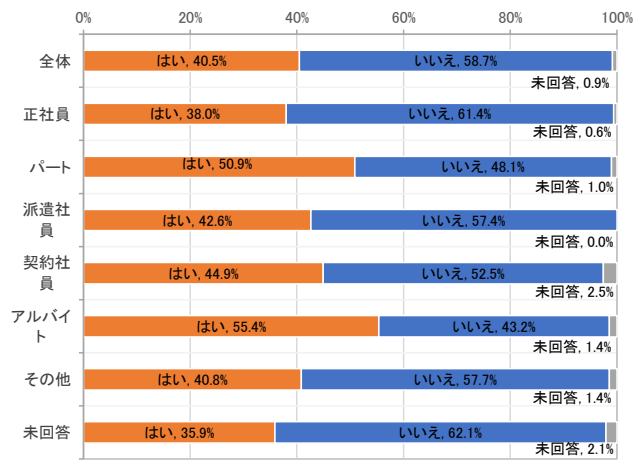
【年齢】	はい	いいえ	未回答	計
計	2,601 40.5%	3,768 58.7%	55 0.9%	6,424 100.0%
10代	68 39.3%	105 60.7%	0 0.0%	173 100.0%
20代	435 31.8%	928 67.8%	5 0.4%	1,368 100.0%
30代	552 36.0%	972 63.3%	11 0.7%	1,535 100.0%
40代	678 42.7%	894 56.4%	14 0.9%	1,586 100.0%
50代	627 50.3%	609 48.9%	10 0.8%	1,246 100.0%
60代	188 49.7%	180 47.6%	10 2.6%	378 100.0%
70代以上	38 36.9%	61 59.2%	4 3.9%	103 100.0%
未回答	15 42.9%	19 54.3%	1 2.9%	35 100.0%



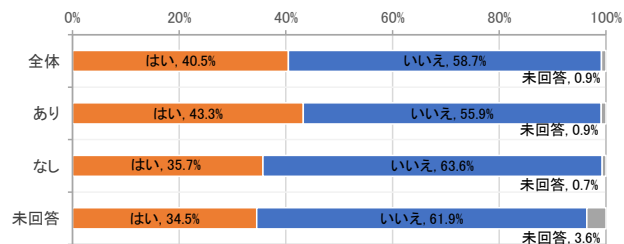
【職業】	はい	いいえ	未回答	計
計	2,601 40.5%	3,768 58.7%	55 0.9%	6,424 100.0%
会社員	1,796 38.2%	2,878 61.1%	33 0.7%	4,707 100.0%
会社役員	17 58.6%	11 37.9%	1 3.4%	29 100.0%
公務員	341 46.8%	379 52.1%	8 1.1%	728 100.0%
自営業	36 40.9%	51 58.0%	1 1.1%	88 100.0%
無職	57 28.6%	138 69.3%	4 2.0%	199 100.0%
学生	138 53.7%	117 45.5%	2 0.8%	257 100.0%
その他	127 52.7%	111 46.1%	3 1.2%	241 100.0%
未回答	89 50.9%	83 47.4%	3 1.7%	175 100.0%



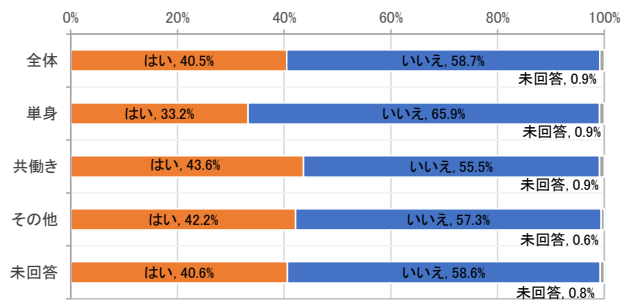
【雇用形態】	はい	いいえ	未回答	計
計	2,601 40.5%	3,768 58.7%	55 0.9%	6,424 100.0%
正社員	1,760 38.0%	2,841 61.4%	29 0.6%	4,630 100.0%
パート	348 50.9%	329 48.1%	7 1.0%	684 100.0%
派遣社員	52 42.6%	70 57.4%	0 0.0%	122 100.0%
契約社員	124 44.9%	145 52.5%	7 2.5%	276 100.0%
アルバイト	155 55.4%	121 43.2%	4 1.4%	280 100.0%
その他	58 40.8%	82 57.7%	2 1.4%	142 100.0%
未回答	104 35.9%	180 62.1%	6 2.1%	290 100.0%



【配偶者】	はい	いいえ	未回答	計
計	2,601 40.5%	3,768 58.7%	55 0.9%	6,424 100.0%
あり	1,767 43.3%	2,282 55.9%	36 0.9%	4,085 100.0%
なし	805 35.7%	1,434 63.6%	16 0.7%	2,255 100.0%
未回答	29 34.5%	52 61.9%	3 3.6%	84 100.0%



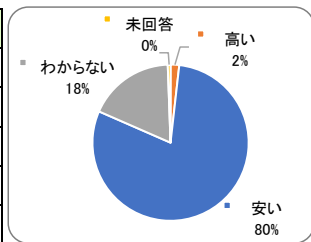
【世帯】	はい	いいえ	未回答	計
計	2,601 40.5%	3,768 58.7%	55 0.9%	6,424 100.0%
単身	545 33.2%	1,080 65.9%	15 0.9%	1,640 100.0%
共働き	1,485 43.6%	1,889 55.5%	31 0.9%	3,405 100.0%
その他	301 42.2%	409 57.3%	4 0.6%	714 100.0%
未回答	270 40.6%	390 58.6%	5 0.8%	665 100.0%



Q2. 現在(2021年2月現在)、福井県の最低賃金時給830円ですが、どう思いますか？

※参考：月給換算では139,440円(日8時間、月21日)

	集約数	構成比
高い	115	1.8%
安い	5,124	79.8%
わからない	1,148	17.9%
未回答	37	0.6%
計	6,424	100.0%

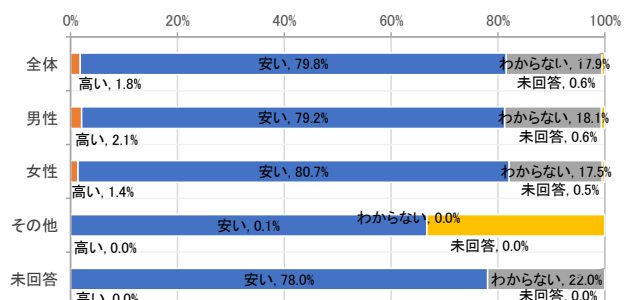


一日8時間、月21日間の労働日数でも、高卒初任給に到底及ばない賃金水準である時給830円を「安い」と回答している方が全体の8割を占めている。

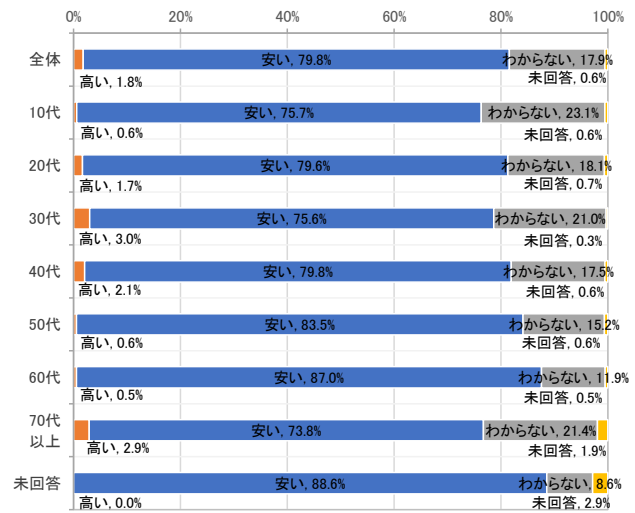
また、会社役員は13.8%、自営業の方は4.5%と他と比較すると「高い」と回答した方の割合が高いものの、「安い」と回答した方が7割を超えている。

性別、年齢、雇用形態の違いや、配偶者のあり・なしに関わらず、時給830円では「安い」と感じられている。

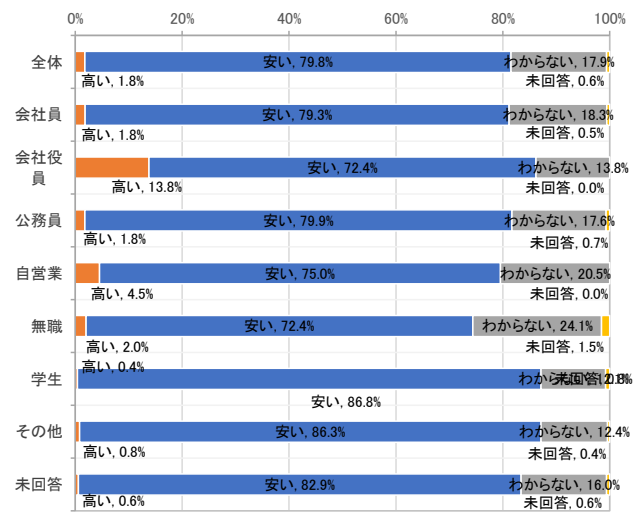
【性別】	高い	安い	わからない	未回答	計
計	115 1.8%	5,124 79.8%	1,148 17.9%	37 0.6%	6,424 100.0%
男性	79 2.1%	3,005 79.2%	688 18.1%	24 0.6%	3,796 100.0%
女性	36 1.4%	2,085 80.7%	451 17.5%	12 0.5%	2,584 100.0%
その他	0 0.0%	2 0.1%	0 0.0%	1 0.0%	3 0.1%
未回答	0 0.0%	32 78.0%	9 22.0%	0 0.0%	41 100.0%



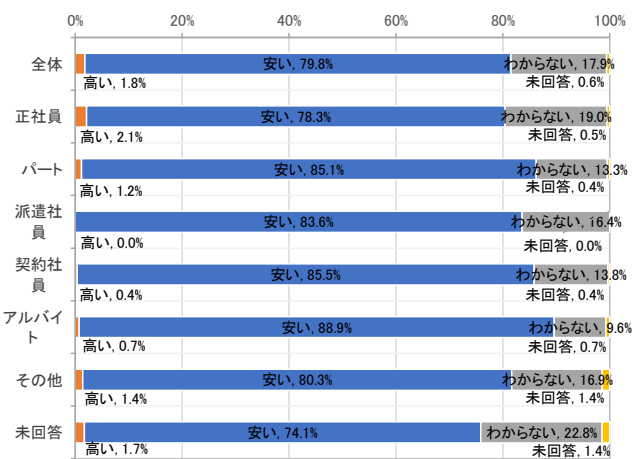
【年齢】	高い	安い	わからない	未回答	計
計	115 1.8%	5,124 79.8%	1,148 17.9%	37 0.6%	6,424 100.0%
10代	1 0.6%	131 75.7%	40 23.1%	1 0.6%	173 100.0%
20代	23 1.7%	1,089 79.6%	247 18.1%	9 0.7%	1,368 100.0%
30代	46 3.0%	1,161 75.6%	323 21.0%	5 0.3%	1,535 100.0%
40代	33 2.1%	1,266 79.8%	278 17.5%	9 0.6%	1,586 100.0%
50代	7 0.6%	1,041 83.5%	190 15.2%	8 0.6%	1,246 100.0%
60代	2 0.5%	329 87.0%	45 11.9%	2 0.5%	378 100.0%
70代以上	3 2.9%	76 73.8%	22 21.4%	2 1.9%	103 100.0%
未回答	0 0.0%	31 88.6%	3 8.6%	1 2.9%	35 100.0%



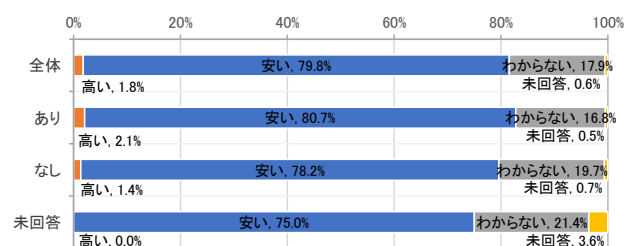
【職業】	高い	安い	わからない	未回答	計
計	115 1.8%	5,124 79.8%	1,148 17.9%	37 0.6%	6,424 100.0%
会社員	86 1.8%	3,735 79.3%	861 18.3%	25 0.5%	4,707 100.0%
会社役員	4 13.8%	21 72.4%	4 13.8%	0 0.0%	29 100.0%
公務員	13 1.8%	582 79.9%	128 17.6%	5 0.7%	728 100.0%
自営業	4 4.5%	66 75.0%	18 20.5%	0 0.0%	88 100.0%
無職	4 2.0%	144 72.4%	48 24.1%	3 1.5%	199 100.0%
学生	1 0.4%	223 86.8%	31 12.1%	2 0.8%	257 100.0%
その他	2 0.8%	208 86.3%	30 12.4%	1 0.4%	241 100.0%
未回答	1 0.6%	145 82.9%	28 16.0%	1 0.6%	175 100.0%



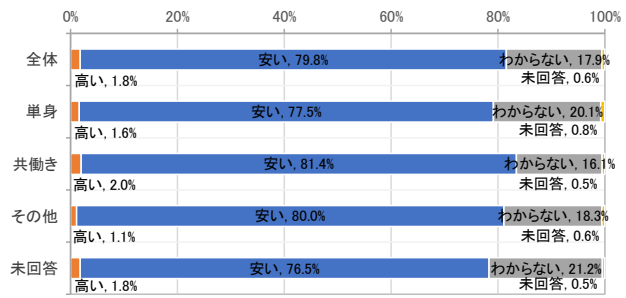
【雇用形態】	高い	安い	わからない	未回答	計
計	115 1.8%	5,124 79.8%	1,148 17.9%	37 0.6%	6,424 100.0%
正社員	97 2.1%	3,626 78.3%	882 19.0%	25 0.5%	4,630 100.0%
パート	8 1.2%	582 85.1%	91 13.3%	3 0.4%	684 100.0%
派遣社員	0 0.0%	102 83.6%	20 16.4%	0 0.0%	122 100.0%
契約社員	1 0.4%	236 85.5%	38 13.8%	1 0.4%	276 100.0%
アルバイト	2 0.7%	249 88.9%	27 9.6%	2 0.7%	280 100.0%
その他	2 1.4%	114 80.3%	24 16.9%	2 1.4%	142 100.0%
未回答	5 1.7%	215 74.1%	66 22.8%	4 1.4%	290 100.0%



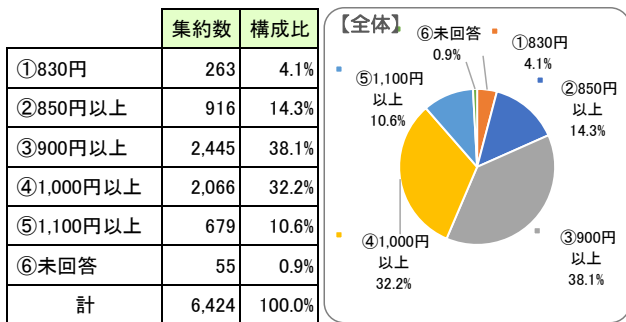
【配偶者】	高い	安い	わからない	未回答	計
計	115 1.8%	5,124 79.8%	1,148 17.9%	37 0.6%	6,424 100.0%
あり	84 2.1%	3,297 80.7%	685 16.8%	19 0.5%	4,085 100.0%
なし	31 1.4%	1,764 78.2%	445 19.7%	15 0.7%	2,255 100.0%
未回答	0 0.0%	63 75.0%	18 21.4%	3 3.6%	84 100.0%



【世帯】	高い	安い	わからない	未回答	計
計	115 1.8%	5,124 79.8%	1,148 17.9%	37 0.6%	6,424 100.0%
単身	27 1.6%	1,271 77.5%	329 20.1%	13 0.8%	1,640 100.0%
共働き	68 2.0%	2,773 81.4%	547 16.1%	17 0.5%	3,405 100.0%
その他	8 1.1%	571 80.0%	131 18.3%	4 0.6%	714 100.0%
未回答	12 1.8%	509 76.5%	141 21.2%	3 0.5%	665 100.0%



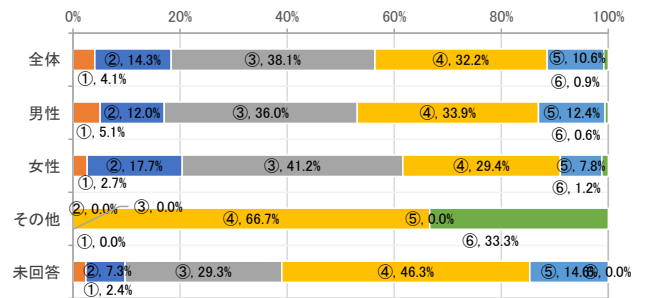
Q3. 福井県内で生活する上で最低必要な賃金の金額は？



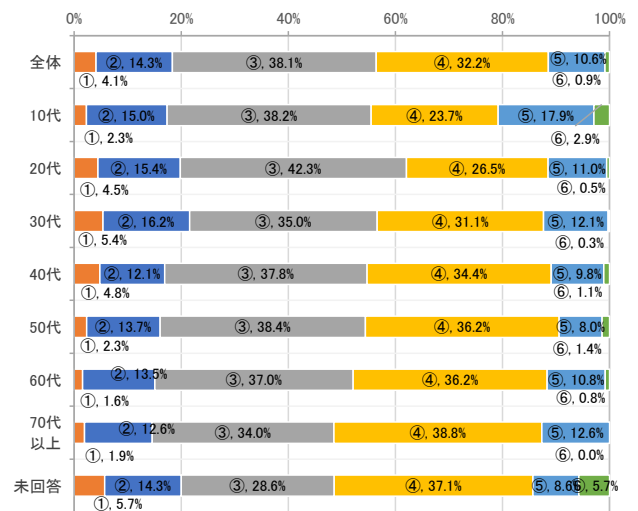
福井県内で生活する上で必要な賃金としては、900円以上とした方が38%で、1,000円以上とした方が32%。そして1,000円以上と続いている。その割合は、男女や年齢、職業が異なっても、同じような傾向である。

ただし、派遣社員と契約社員の方は、他の雇用形態と比べ1,100円とした方の割合が高い。職種や有資格者等、非正規であっても特定の労働に付随する契約で働いている方と思われる。

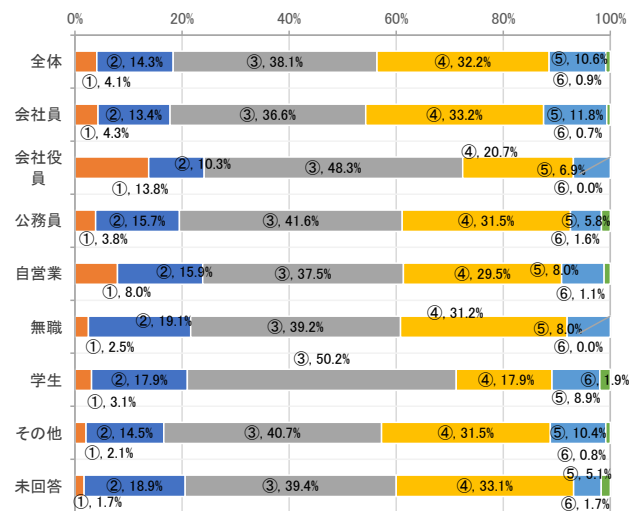
【性別】	830円 ①	850円以上 ②	900円以上 ③	1,000円以上 ④	1,100円以上 ⑤	未回答 ⑥	計
計	263 4.1%	916 14.3%	2,445 38.1%	2,066 32.2%	679 10.6%	55 0.9%	6,424 100.0%
男性	193 5.1%	455 12.0%	1,368 36.0%	1,285 33.9%	472 12.4%	23 0.6%	3,796 100.0%
女性	69 2.7%	458 17.7%	1,065 41.2%	760 29.4%	201 7.8%	31 1.2%	2,584 100.0%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	3 100.0%
未回答	1 2.4%	3 7.3%	12 29.3%	19 46.3%	6 14.6%	0 0.0%	41 100.0%



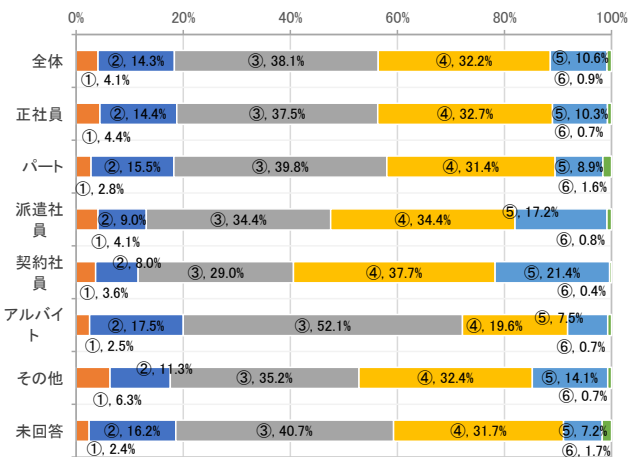
【年齢】	830円 ①	850円以上 ②	900円以上 ③	1,000円以上 ④	1,100円以上 ⑤	未回答 ⑥	計
計	263 4.1%	916 14.3%	2,445 38.1%	2,066 32.2%	679 10.6%	55 0.9%	6,424 100.0%
10代	4 2.3%	26 15.0%	66 38.2%	41 23.7%	31 17.9%	5 2.9%	173 100.0%
20代	61 4.5%	210 15.4%	578 42.3%	362 26.5%	150 11.0%	7 0.5%	1,368 100.0%
30代	83 5.4%	248 16.2%	538 35.0%	477 31.1%	185 12.1%	4 0.3%	1,535 100.0%
40代	76 4.8%	192 12.1%	600 37.8%	545 34.4%	156 9.8%	17 1.1%	1,586 100.0%
50代	29 2.3%	171 13.7%	478 38.4%	451 36.2%	100 8.0%	17 1.4%	1,246 100.0%
60代	6 1.6%	51 13.5%	140 37.0%	137 36.2%	41 10.8%	3 0.8%	378 100.0%
70代以上	2 1.9%	13 12.6%	35 34.0%	40 38.8%	13 12.6%	0 0.0%	103 100.0%
未回答	2 5.7%	5 14.3%	10 28.6%	13 37.1%	3 8.6%	2 5.7%	35 100.0%



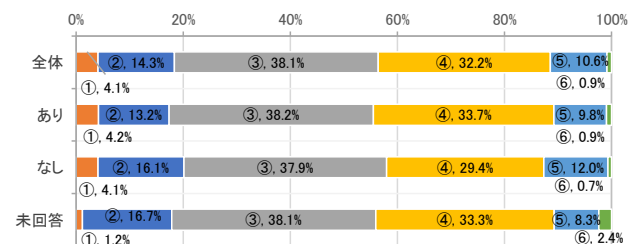
【職業】	830円 ①	850円 以上 ②	900円 以上 ③	1,000円 以上 ④	1,100円 以上 ⑤	未回答 ⑥	計
計	263 4.1%	916 14.3%	2,445 38.1%	2,066 32.2%	679 10.6%	55 0.9%	6,424 100.0%
会社員	203 4.3%	633 13.4%	1,721 36.6%	1,563 33.2%	555 11.8%	32 0.7%	4,707 100.0%
会社役員	4 13.8%	3 10.3%	14 48.3%	6 20.7%	2 6.9%	0 0.0%	29 100.0%
公務員	28 3.8%	114 15.7%	303 41.6%	229 31.5%	42 5.8%	12 1.6%	728 100.0%
自営業	7 8.0%	14 15.9%	33 37.5%	26 29.5%	7 8.0%	1 1.1%	88 100.0%
無職	5 2.5%	38 19.1%	78 39.2%	62 31.2%	16 8.0%	0 0.0%	199 100.0%
学生	8 3.1%	46 17.9%	129 50.2%	46 17.9%	23 8.9%	5 1.9%	257 100.0%
その他	5 2.1%	35 14.5%	98 40.7%	76 31.5%	25 10.4%	2 0.8%	241 100.0%
未回答	3 1.7%	33 18.9%	69 39.4%	58 33.1%	9 5.1%	3 1.7%	175 100.0%



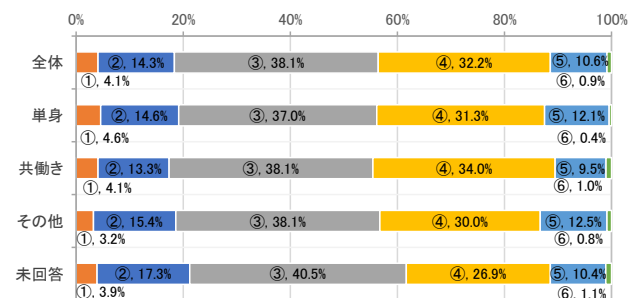
【雇用形態】	830円 ①	850円 以上 ②	900円 以上 ③	1,000円 以上 ④	1,100円 以上 ⑤	未回答 ⑥	計
計	263 4.1%	916 14.3%	2,445 38.1%	2,066 32.2%	679 10.6%	55 0.9%	6,424 100.0%
正社員	206 4.4%	665 14.4%	1,737 37.5%	1,512 32.7%	476 10.3%	34 0.7%	4,630 100.0%
パート	19 2.8%	106 15.5%	272 39.8%	215 31.4%	61 8.9%	11 1.6%	684 100.0%
派遣社員	5 4.1%	11 9.0%	42 34.4%	42 34.4%	21 17.2%	1 0.8%	122 100.0%
契約社員	10 3.6%	22 8.0%	80 29.0%	104 37.7%	59 21.4%	1 0.4%	276 100.0%
アルバイト	7 2.5%	49 17.5%	146 52.1%	55 19.6%	21 7.5%	2 0.7%	280 100.0%
その他	9 6.3%	16 11.3%	50 35.2%	46 32.4%	20 14.1%	1 0.7%	142 100.0%
未回答	7 2.4%	47 16.2%	118 40.7%	92 31.7%	21 7.2%	5 1.7%	290 100.0%



【配偶者】	830円 ①	850円 以上 ②	900円 以上 ③	1,000円 以上 ④	1,100円 以上 ⑤	未回答 ⑥	計
計	263 4.1%	916 14.3%	2,445 38.1%	2,066 32.2%	679 10.6%	55 0.9%	6,424 100.0%
あり	170 4.2%	540 13.2%	1,559 38.2%	1,376 33.7%	402 9.8%	38 0.9%	4,085 100.0%
なし	92 4.1%	362 16.1%	854 37.9%	662 29.4%	270 12.0%	15 0.7%	2,255 100.0%
未回答	1 1.2%	14 16.7%	32 38.1%	28 33.3%	7 8.3%	2 2.4%	84 100.0%



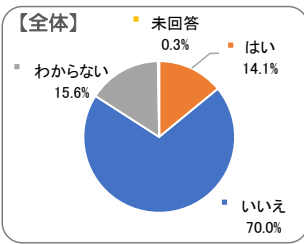
【世帯】	830円 ①	850円 以上 ②	900円 以上 ③	1,000円 以上 ④	1,100円 以上 ⑤	未回答 ⑥	計
計	263 4.1%	916 14.3%	2,445 38.1%	2,066 32.2%	679 10.6%	55 0.9%	6,424 100.0%
単身	75 4.6%	239 14.6%	607 37.0%	514 31.3%	198 12.1%	7 0.4%	1,640 100.0%
共働き	139 4.1%	452 13.3%	1,297 38.1%	1,159 34.0%	323 9.5%	35 1.0%	3,405 100.0%
その他	23 3.2%	110 15.4%	272 38.1%	214 30.0%	89 12.5%	6 0.8%	714 100.0%
未回答	26 3.9%	115 17.3%	269 40.5%	179 26.9%	69 10.4%	7 1.1%	665 100.0%



Q4. 福井県は隣接する石川県や滋賀県より賃金が低くても仕方ないと思いますか？

※参考：石川県833円、滋賀県868円、京都府909円)

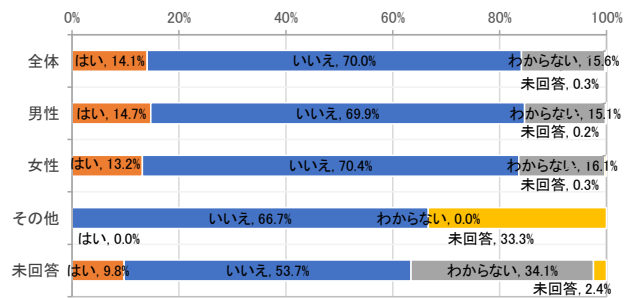
	集約数	集約率
はい	903	14.1%
いいえ	4,499	70.0%
わからない	1,004	15.6%
未回答	18	0.3%
計	6,424	100.0%



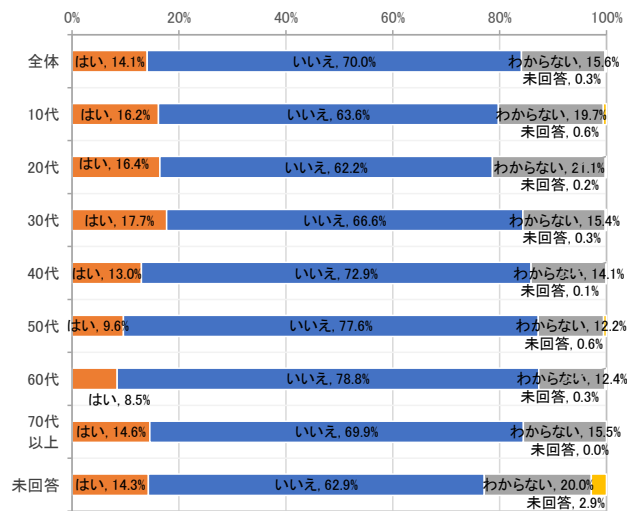
隣接する地域との差については、地域の経済や雇用状況等（ランク違い）によっては多少仕方がないが、隣接する府県の最低賃金が福井より全て「高い」ことについては、全体の7割の方が納得していない。実際に、石川県や滋賀県の職場に務めていたり、買い物に行く方は、経済圏や生活圏との矛盾を感じるに違いない。

一方、会社役員と学生の方は、34%と20%を超える方が「仕方がない」と回答。会社役員の方は、地域によっての経営環境や雇用環境によって異なってくるのは仕方がないと考えられ、学生の方は、特に県外出身の方が、出身地との違いを経験し、実感として「仕方がない」と感じられているのではと推察される。

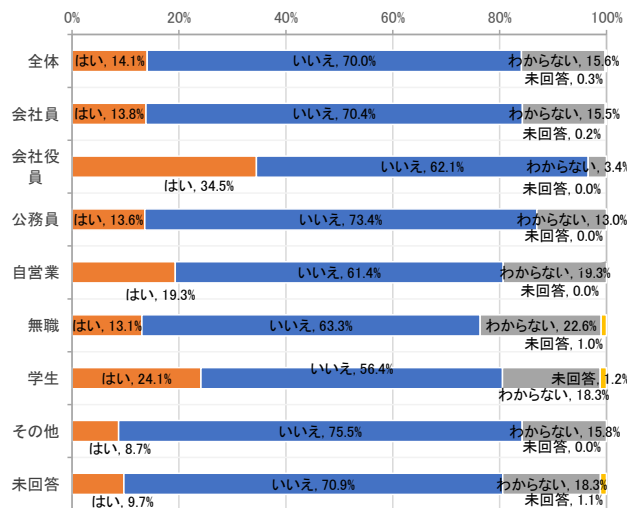
【性別】	はい	いいえ	わからない	未回答	計
計	903 14.1%	4,499 70.0%	1,004 15.6%	18 0.3%	6,424 100.0%
男性	559 14.7%	2,655 69.9%	574 15.1%	8 0.2%	3,796 100.0%
女性	340 13.2%	1,820 70.4%	416 16.1%	8 0.3%	2,584 100.0%
その他	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	3 100.0%
未回答	4 9.8%	22 53.7%	14 34.1%	1 2.4%	41 100.0%



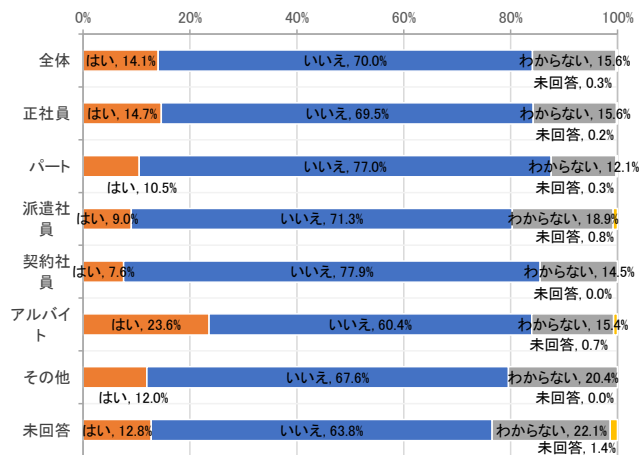
【年齢】	はい	いいえ	わからない	未回答	計
計	903 14.1%	4,499 70.0%	1,004 15.6%	18 0.3%	6,424 100.0%
10代	28 16.2%	110 63.6%	34 19.7%	1 0.6%	173 100.0%
20代	225 16.4%	851 62.2%	289 21.1%	3 0.2%	1,368 100.0%
30代	272 17.7%	1,023 66.6%	236 15.4%	4 0.3%	1,535 100.0%
40代	206 13.0%	1,156 72.9%	223 14.1%	1 0.1%	1,586 100.0%
50代	120 9.6%	967 77.6%	152 12.2%	7 0.6%	1,246 100.0%
60代	32 8.5%	298 78.8%	47 12.4%	1 0.3%	378 100.0%
70代以上	15 14.6%	72 69.9%	16 15.5%	0 0.0%	103 100.0%
未回答	5 14.3%	22 62.9%	7 20.0%	1 2.9%	35 100.0%



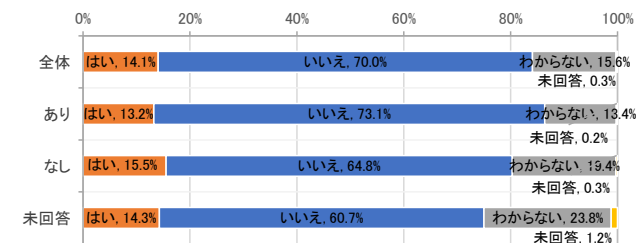
【職業】	はい	いいえ	わからない	未回答	計
計	903 14.1%	4,499 70.0%	1,004 15.6%	18 0.3%	6,424 100.0%
会社員	651 13.8%	3,316 70.4%	729 15.5%	11 0.2%	4,707 100.0%
会社役員	10 34.5%	18 62.1%	1 3.4%	0 0.0%	29 100.0%
公務員	99 13.6%	534 73.4%	95 13.0%	0 0.0%	728 100.0%
自営業	17 19.3%	54 61.4%	17 19.3%	0 0.0%	88 100.0%
無職	26 13.1%	126 63.3%	45 22.6%	2 1.0%	199 100.0%
学生	62 24.1%	145 56.4%	47 18.3%	3 1.2%	257 100.0%
その他	21 8.7%	182 75.5%	38 15.8%	0 0.0%	241 100.0%
未回答	17 9.7%	124 70.9%	32 18.3%	2 1.1%	175 100.0%



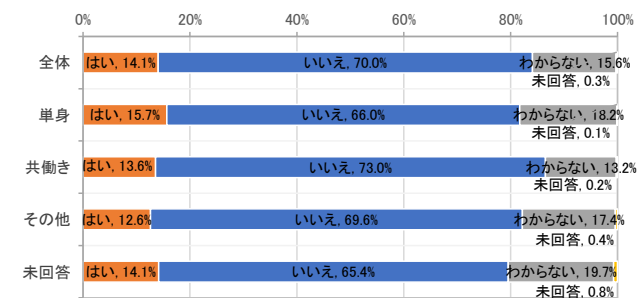
【雇用形態】	はい	いいえ	わからない	未回答	計
計	903 14.1%	4,499 70.0%	1,004 15.6%	18 0.3%	6,424 100.0%
正社員	679 14.7%	3,220 69.5%	722 15.6%	9 0.2%	4,630 100.0%
パート	72 10.5%	527 77.0%	83 12.1%	2 0.3%	684 100.0%
派遣社員	11 9.0%	87 71.3%	23 18.9%	1 0.8%	122 100.0%
契約社員	21 7.6%	215 77.9%	40 14.5%	0 0.0%	276 100.0%
アルバイト	66 23.6%	169 60.4%	43 15.4%	2 0.7%	280 100.0%
その他	17 12.0%	96 67.6%	29 20.4%	0 0.0%	142 100.0%
未回答	37 12.8%	185 63.8%	64 22.1%	4 1.4%	290 100.0%



【配偶者】	はい	いいえ	わからない	未回答	計
計	903 14.1%	4,499 70.0%	1,004 15.6%	18 0.3%	6,424 100.0%
あり	541 13.2%	2,987 73.1%	547 13.4%	10 0.2%	4,085 100.0%
なし	350 15.5%	1,461 64.8%	437 19.4%	7 0.3%	2,255 100.0%
未回答	12 14.3%	51 60.7%	20 23.8%	1 1.2%	84 100.0%

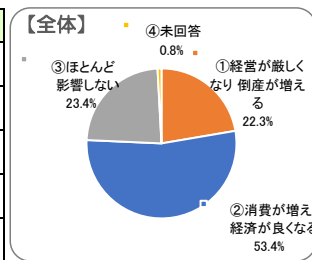


【世帯】	はい	いいえ	わからない	未回答	計
計	903 14.1%	4,499 70.0%	1,004 15.6%	18 0.3%	6,424 100.0%
単身	257 15.7%	1,083 66.0%	298 18.2%	2 0.1%	1,640 100.0%
共働き	462 13.6%	2,484 73.0%	451 13.2%	8 0.2%	3,405 100.0%
その他	90 12.6%	497 69.6%	124 17.4%	3 0.4%	714 100.0%
未回答	94 14.1%	435 65.4%	131 19.7%	5 0.8%	665 100.0%



Q5. 最低賃金が1,000円になると、どのような影響があると思いますか？

	集約数	構成比
①経営が厳しくなり倒産が増える	1,434	22.3%
②消費が増え経済が良くなる	3,430	53.4%
③ほとんど影響しない	1,506	23.4%
④未回答	54	0.8%
計	6,424	100.0%

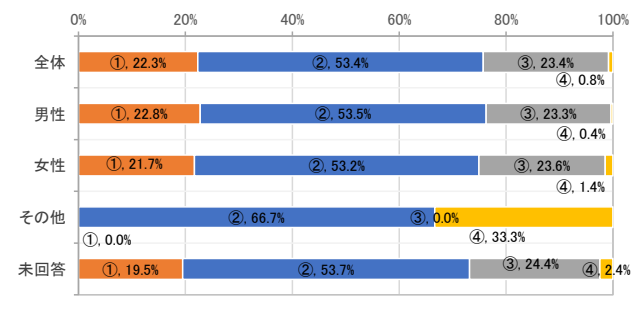


「消費が増え経済が良くなる」と回答した方が全体の50%超。そして「経営が厳しくなり倒産が増える」、或いは「ほとんど影響しない」と回答した方が約2割ずつであった。

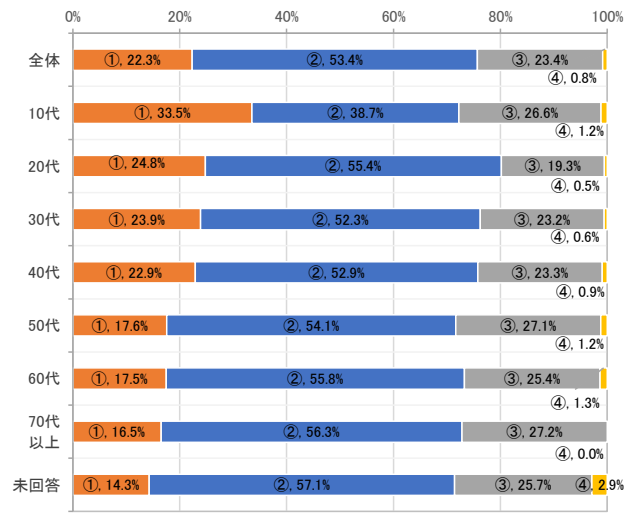
しかし、会社役員の方は38%が「経営が厳しくなり倒産が増える」とした。

背景として、雇用戦略対話（H22年6月）にて、「できる限り早期に全国最低800円を確保し、全国平均1,000円を目指す」ことが2020年までの目標として政労使間で合意され、福井県においても2018年には803円となった。こうした、急激な引き上げが実際に支払われている賃金に近づき、最低賃金の改定による影響率（実際の支払賃金を引き上げなければならない人の割合）の高まりと、1,000円という金額が現実味を帯びたことに対する危機感の表れと思われる。

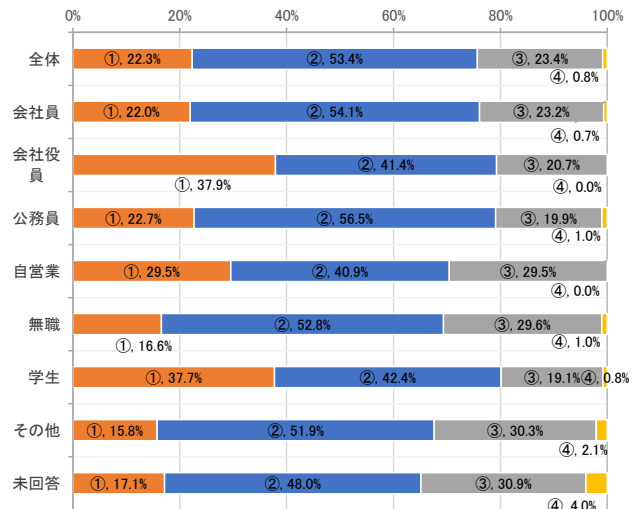
【性別】	経営が厳しくなり倒産が増える ①	消費が増え経済が良くなる ②	ほとんど影響しない ③	未回答 ④	計
計	1,434 22.3%	3,430 53.4%	1,506 23.4%	54 0.8%	6,424 100.0%
男性	865 22.8%	2,031 53.5%	885 23.3%	15 0.4%	3,796 100.0%
女性	561 21.7%	1,375 53.2%	611 23.6%	37 1.4%	2,584 100.0%
その他	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	3 100.0%
未回答	8 19.5%	22 53.7%	10 24.4%	1 2.4%	41 100.0%



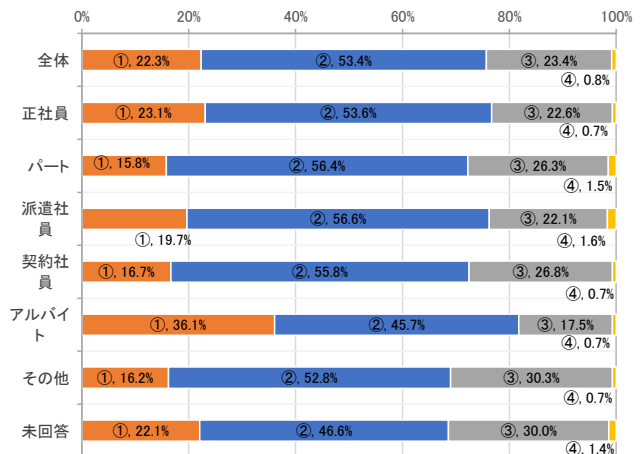
【年齢】	経営が厳しくなり倒産が増える	消費が増え経済が良くなる	ほとんど影響しない	未回答	計
	①	②	③		
計	1,434 22.3%	3,430 53.4%	1,506 23.4%	54 0.8%	6,424 100.0%
10代	58 33.5%	67 38.7%	46 26.6%	2 1.2%	173 100.0%
20代	339 24.8%	758 55.4%	264 19.3%	7 0.5%	1,368 100.0%
30代	367 23.9%	803 52.3%	356 23.2%	9 0.6%	1,535 100.0%
40代	363 22.9%	839 52.9%	369 23.3%	15 0.9%	1,586 100.0%
50代	219 17.6%	674 54.1%	338 27.1%	15 1.2%	1,246 100.0%
60代	66 17.5%	211 55.8%	96 25.4%	5 1.3%	378 100.0%
70代以上	17 16.5%	58 56.3%	28 27.2%	0 0.0%	103 100.0%
未回答	5 14.3%	20 57.1%	9 25.7%	1 2.9%	35 100.0%



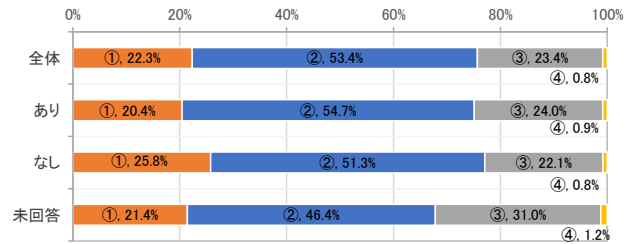
【職業】	経営が厳しくなり倒産が増える	消費が増え経済が良くなる	ほとんど影響しない	未回答	計
	①	②	③		
計	1,434 22.3%	3,430 53.4%	1,506 23.4%	54 0.8%	6,424 100.0%
会社員	1,034 22.0%	2,548 54.1%	1,094 23.2%	31 0.7%	4,707 100.0%
会社役員	11 37.9%	12 41.4%	6 20.7%	0 0.0%	29 100.0%
公務員	165 22.7%	411 56.5%	145 19.9%	7 1.0%	728 100.0%
自営業	26 29.5%	36 40.9%	26 29.5%	0 0.0%	88 100.0%
無職	33 16.6%	105 52.8%	59 29.6%	2 1.0%	199 100.0%
学生	97 37.7%	109 42.4%	49 19.1%	2 0.8%	257 100.0%
その他	38 15.8%	125 51.9%	73 30.3%	5 2.1%	241 100.0%
未回答	30 17.1%	84 48.0%	54 30.9%	7 4.0%	175 100.0%



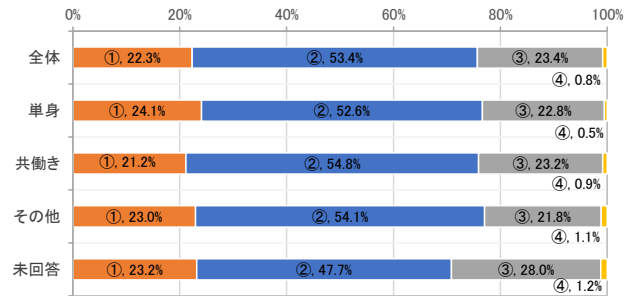
【雇用形態】	経営が厳しくなり倒産が増える	消費が増え経済が良くなる	ほとんど影響しない	未回答	計
	①	②	③		
計	1,434 22.3%	3,430 53.4%	1,506 23.4%	54 0.8%	6,424 100.0%
正社員	1,068 23.1%	2,483 53.6%	1,046 22.6%	33 0.7%	4,630 100.0%
パート	108 15.8%	386 56.4%	180 26.3%	10 1.5%	684 100.0%
派遣社員	24 19.7%	69 56.6%	27 22.1%	2 1.6%	122 100.0%
契約社員	46 16.7%	154 55.8%	74 26.8%	2 0.7%	276 100.0%
アルバイト	101 36.1%	128 45.7%	49 17.5%	2 0.7%	280 100.0%
その他	23 16.2%	75 52.8%	43 30.3%	1 0.7%	142 100.0%
未回答	64 22.1%	135 46.6%	87 30.0%	4 1.4%	290 100.0%



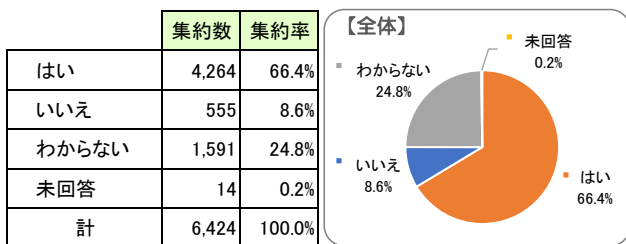
【配偶者】	経営が厳しくなり倒産が増える	消費が増え経済が良くなる	ほとんど影響しない	未回答	計
	①	②	③	④	
計	1,434 22.3%	3,430 53.4%	1,506 23.4%	54 0.8%	6,424 100.0%
あり	835 20.4%	2,234 54.7%	981 24.0%	35 0.9%	4,085 100.0%
なし	581 25.8%	1,157 51.3%	499 22.1%	18 0.8%	2,255 100.0%
未回答	18 21.4%	39 46.4%	26 31.0%	1 1.2%	84 100.0%



【世帯】	経営が厳しくなり倒産が増える	消費が増え経済が良くなる	ほとんど影響しない	未回答	計
	①	②	③	④	
計	1,434 22.3%	3,430 53.4%	1,506 23.4%	54 0.8%	6,424 100.0%
単身	395 24.1%	862 52.6%	374 22.8%	9 0.5%	1,640 100.0%
共働き	721 21.2%	1,865 54.8%	790 23.2%	29 0.9%	3,405 100.0%
その他	164 23.0%	386 54.1%	156 21.8%	8 1.1%	714 100.0%
未回答	154 23.2%	317 47.7%	186 28.0%	8 1.2%	665 100.0%



Q6. 2020年度の福井県最低賃金はコロナ禍の影響により1円の引上げに留まりました。一方、コロナ禍の影響を大きく受けているのは、最低賃金に近い賃金で働いている非正規労働者の方と言われています。コロナ禍にあっても最低賃金は引き上げるべきと思いますか？

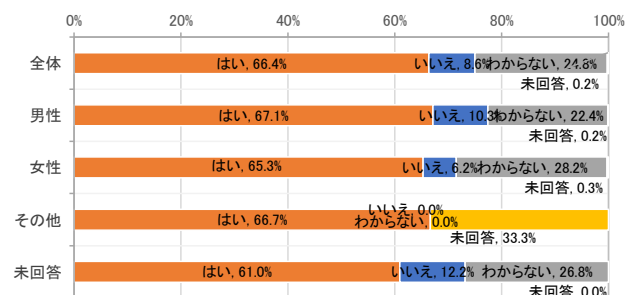


全体の2/3の方がコロナ禍にあっても「引き上げるべき」と回答。最低賃金が国際的にも低い水準であることや、1円という引き上げによって生活そのものが改善される金額であるか!?!と疑問に感じられていると推察される。

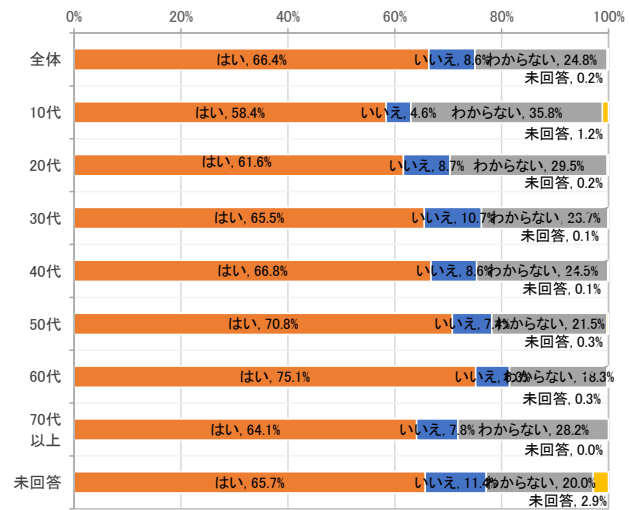
一方、会社役員の方は、6割近くの方が「引き上げるべき」と回答しているものの、「引き上げるべきではない」とした回答が27.6%あった。コロナ禍という世界的な混乱の中では、経営もままならず、最低賃金の引き上げは状況に応じ引き上げるべきとの考えの表れであろう。

また、雇用形態でみると、パートタイマーや派遣社員等の非正規労働の方は、70%以上の方が引き上げを求めており、正社員以上に直接的に処遇改善につながる最低賃金の段階的な引き上げが求められていると考える。

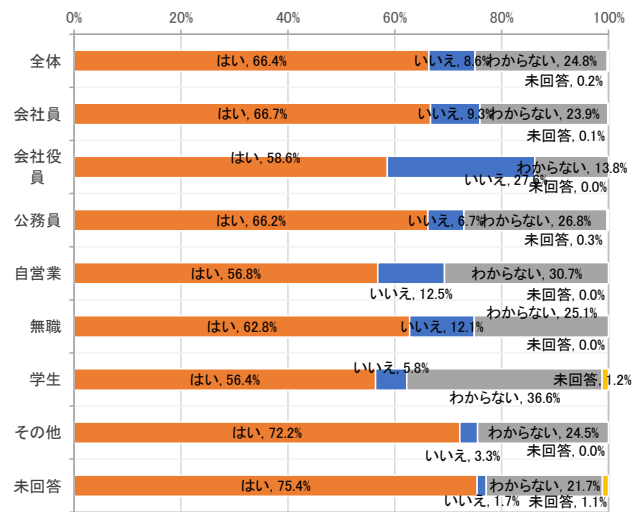
【性別】	はい	いいえ	わからない	未回答	計
計	4,264 66.4%	555 8.6%	1,591 24.8%	14 0.2%	6,424 100.0%
男性	2,549 67.1%	390 10.3%	851 22.4%	6 0.2%	3,796 100.0%
女性	1,688 65.3%	160 6.2%	729 28.2%	7 0.3%	2,584 100.0%
その他	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	3 100.0%
未回答	25 61.0%	5 12.2%	11 26.8%	0 0.0%	41 100.0%



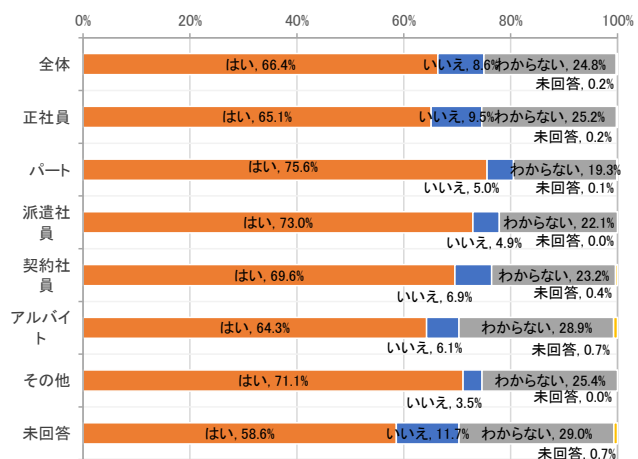
【年齢】	はい	いいえ	わからない	未回答	計
計	4,264 66.4%	555 8.6%	1,591 24.8%	14 0.2%	6,424 100.0%
10代	101 58.4%	8 4.6%	62 35.8%	2 1.2%	173 100.0%
20代	843 61.6%	119 8.7%	403 29.5%	3 0.2%	1,368 100.0%
30代	1,006 65.5%	164 10.7%	364 23.7%	1 0.1%	1,535 100.0%
40代	1,059 66.8%	136 8.6%	389 24.5%	2 0.1%	1,586 100.0%
50代	882 70.8%	92 7.4%	268 21.5%	4 0.3%	1,246 100.0%
60代	284 75.1%	24 6.3%	69 18.3%	1 0.3%	378 100.0%
70代以上	66 64.1%	8 7.8%	29 28.2%	0 0.0%	103 100.0%
未回答	23 65.7%	4 11.4%	7 20.0%	1 2.9%	35 100.0%



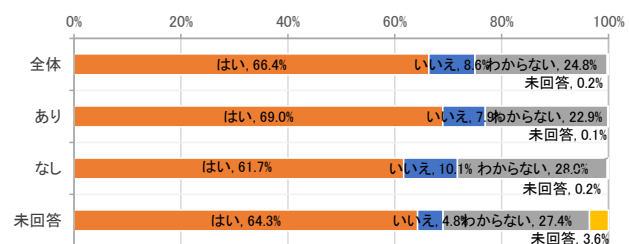
【職業】	はい	いいえ	わからない	未回答	計
計	4,264 66.4%	555 8.6%	1,591 24.8%	14 0.2%	6,424 100.0%
会社員	3,139 66.7%	437 9.3%	1,124 23.9%	7 0.1%	4,707 100.0%
会社役員	17 58.6%	8 27.6%	4 13.8%	0 0.0%	29 100.0%
公務員	482 66.2%	49 6.7%	195 26.8%	2 0.3%	728 100.0%
自営業	50 56.8%	11 12.5%	27 30.7%	0 0.0%	88 100.0%
無職	125 62.8%	24 12.1%	50 25.1%	0 0.0%	199 100.0%
学生	145 56.4%	15 5.8%	94 36.6%	3 1.2%	257 100.0%
その他	174 72.2%	8 3.3%	59 24.5%	0 0.0%	241 100.0%
未回答	132 75.4%	3 1.7%	38 21.7%	2 1.1%	175 100.0%



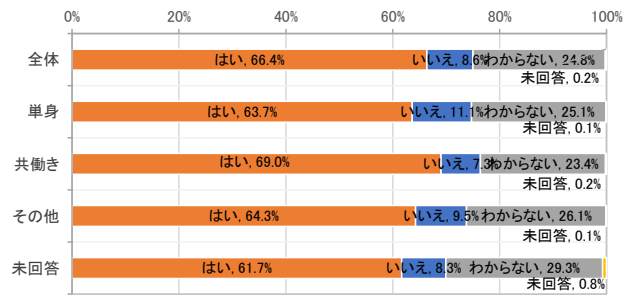
【雇用形態】	はい	いいえ	わからない	未回答	計
計	4,264 66.4%	555 8.6%	1,591 24.8%	14 0.2%	6,424 100.0%
正社員	3,015 65.1%	440 9.5%	1,167 25.2%	8 0.2%	4,630 100.0%
パート	517 75.6%	34 5.0%	132 19.3%	1 0.1%	684 100.0%
派遣社員	89 73.0%	6 4.9%	27 22.1%	0 0.0%	122 100.0%
契約社員	192 69.6%	19 6.9%	64 23.2%	1 0.4%	276 100.0%
アルバイト	180 64.3%	17 6.1%	81 28.9%	2 0.7%	280 100.0%
その他	101 71.1%	5 3.5%	36 25.4%	0 0.0%	142 100.0%
未回答	170 58.6%	34 11.7%	84 29.0%	2 0.7%	290 100.0%



【配偶者】	はい	いいえ	わからない	未回答	計
計	4,264 66.4%	555 8.6%	1,591 24.8%	14 0.2%	6,424 100.0%
あり	2,819 69.0%	324 7.9%	936 22.9%	6 0.1%	4,085 100.0%
なし	1,391 61.7%	227 10.1%	632 28.0%	5 0.2%	2,255 100.0%
未回答	54 64.3%	4 4.8%	23 27.4%	3 3.6%	84 100.0%

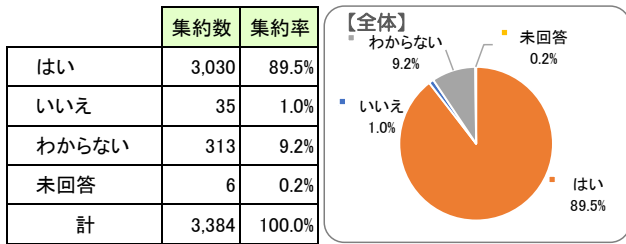


【世帯】	はい	いいえ	わからない	未回答	計
計	4,264 66.4%	555 8.6%	1,591 24.8%	14 0.2%	6,424 100.0%
単身	1,044 63.7%	182 11.1%	412 25.1%	2 0.1%	1,640 100.0%
共働き	2,351 69.0%	250 7.3%	798 23.4%	6 0.2%	3,405 100.0%
その他	459 64.3%	68 9.5%	186 26.1%	1 0.1%	714 100.0%
未回答	410 61.7%	55 8.3%	195 29.3%	5 0.8%	665 100.0%



Q7. 最低賃金や年次有給休暇、育児介護休業といった制度は、労働組合が労使協定を結んでいった結果、法制化されました。今後も労働組合は、企業内最低賃金協定や働き方に関する協定を結んでいく事が大切だと思いますか？

※連合福井組合員のみアンケート実施

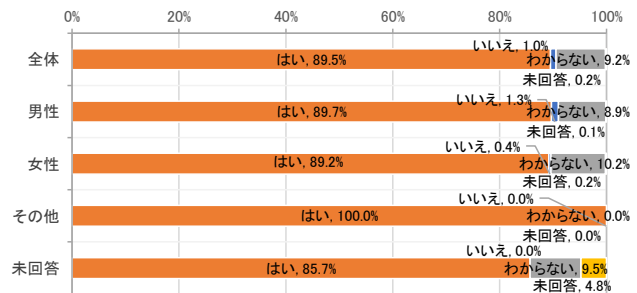


労働環境や処遇の改善を図るためには、労働者と使用者（経営者）が協力して努め、労働協約として締結していく事が労働組合として大切です。労働組合のある職場は、あって当たり前となり、存在意義に疑問符を付けられる場合があります。今の労働環境があるのはこれまでの努力の結果です。

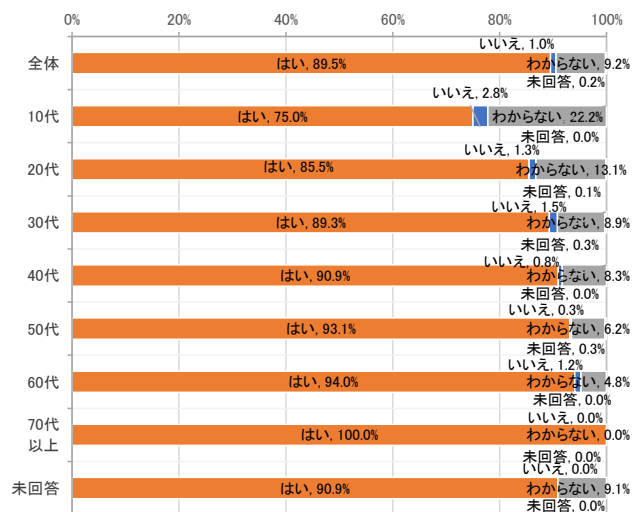
労働組合として、自らの職場に止まらず同業種や地域、あるいは組合のない職場への波及をめざして様々な課題に取り組み、労使協定によって一層の改善を図りましょう！

春闘での賃金改定や企業内最低賃金の協定は、福井県最低賃金や特定（産別）最低賃金にも大きく影響します。是非とも企業内最賃協定を締結ください。

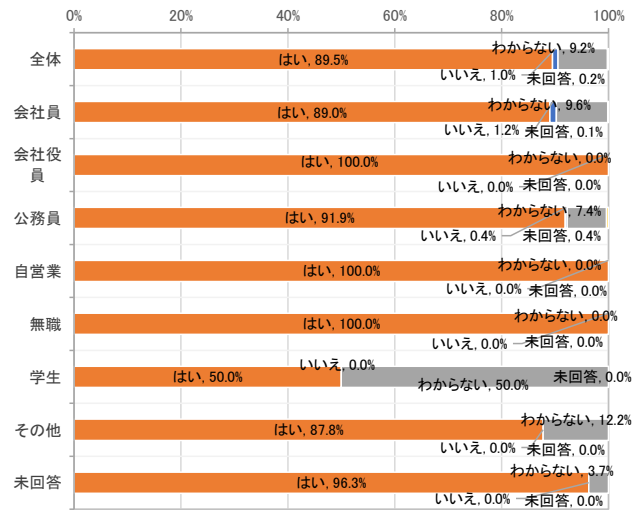
【性別】	はい	いいえ	わからない	未回答	計
計	3,030 89.5%	35 1.0%	313 9.2%	6 0.2%	3,384 100.0%
男性	2,168 89.7%	31 1.3%	215 8.9%	3 0.1%	2,417 100.0%
女性	842 89.2%	4 0.4%	96 10.2%	2 0.2%	944 100.0%
その他	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
未回答	18 85.7%	0 0.0%	2 9.5%	1 4.8%	21 100.0%



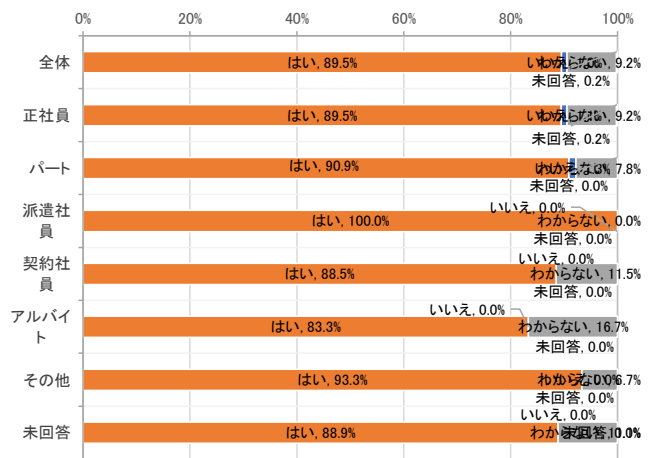
【年齢】	はい	いいえ	わからない	未回答	計
計	3,030 89.5%	35 1.0%	313 9.2%	6 0.2%	3,384 100.0%
10代	27 75.0%	1 2.8%	8 22.2%	0 0.0%	36 100.0%
20代	679 85.5%	10 1.3%	104 13.1%	1 0.1%	794 100.0%
30代	836 89.3%	14 1.5%	83 8.9%	3 0.3%	936 100.0%
40代	813 90.9%	7 0.8%	74 8.3%	0 0.0%	894 100.0%
50代	582 93.1%	2 0.3%	39 6.2%	2 0.3%	625 100.0%
60代	79 94.0%	1 1.2%	4 4.8%	0 0.0%	84 100.0%
70代以上	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
未回答	10 90.9%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%	11 100.0%



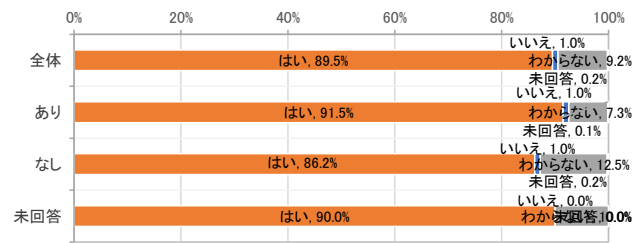
【職業】	はい	いいえ	わからない	未回答	計
計	3,030 89.5%	35 1.0%	313 9.2%	6 0.2%	3,384 100.0%
会社員	2,439 89.0%	33 1.2%	264 9.6%	4 0.1%	2,740 100.0%
会社役員	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
公務員	512 91.9%	2 0.4%	41 7.4%	2 0.4%	557 100.0%
自営業	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 100.0%
無職	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
学生	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	2 100.0%
その他	43 87.8%	0 0.0%	6 12.2%	0 0.0%	49 100.0%
未回答	26 96.3%	0 0.0%	1 3.7%	0 0.0%	27 100.0%



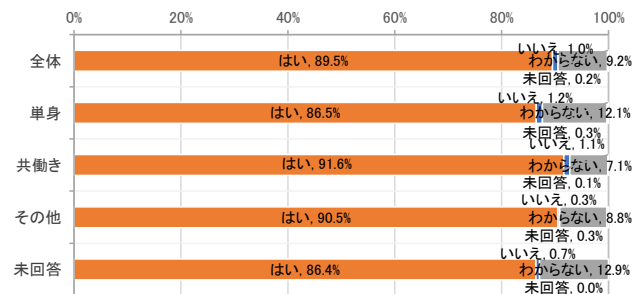
【雇用形態】	はい	いいえ	わからない	未回答	計
計	3,030 89.5%	35 1.0%	313 9.2%	6 0.2%	3,384 100.0%
正社員	2,835 89.5%	34 1.1%	293 9.2%	6 0.2%	3,168 100.0%
パート	70 90.9%	1 1.3%	6 7.8%	0 0.0%	77 100.0%
派遣社員	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 100.0%
契約社員	54 88.5%	0 0.0%	7 11.5%	0 0.0%	61 100.0%
アルバイト	5 83.3%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	6 100.0%
その他	28 93.3%	0 0.0%	2 6.7%	0 0.0%	30 100.0%
未回答	32 88.9%	0 0.0%	4 11.1%	0 0.0%	36 100.0%



【配偶者】	はい	いいえ	わからない	未回答	計
計	3,030 89.5%	35 1.0%	313 9.2%	6 0.2%	3,384 100.0%
あり	1,929 91.5%	22 1.0%	154 7.3%	3 0.1%	2,108 100.0%
なし	1,074 86.2%	13 1.0%	156 12.5%	3 0.2%	1,246 100.0%
未回答	27 90.0%	0 0.0%	3 10.0%	0 0.0%	30 100.0%



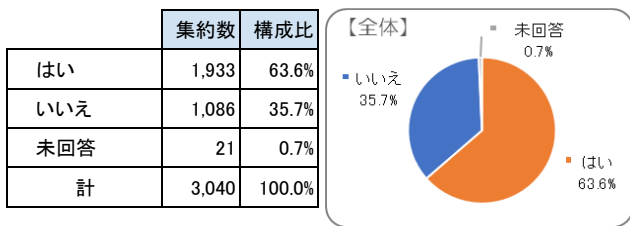
【世帯】	はい	いいえ	わからない	未回答	計
計	3,030 89.5%	35 1.0%	313 9.2%	6 0.2%	3,384 100.0%
単身	882 86.5%	12 1.2%	123 12.1%	3 0.3%	1,020 100.0%
共働き	1,632 91.6%	20 1.1%	127 7.1%	2 0.1%	1,781 100.0%
その他	268 90.5%	1 0.3%	26 8.8%	1 0.3%	296 100.0%
未回答	248 86.4%	2 0.7%	37 12.9%	0 0.0%	287 100.0%



Q8. 最低賃金はすべての労働者(アルバイトや外国人労働者、試用期間中の方も含む)に適用されることを知っていますか？

※但し、一部の労働者に限り使用者が労働局長の許可を得た場合、特例として減額が認められる。

※一般のみアンケート実施

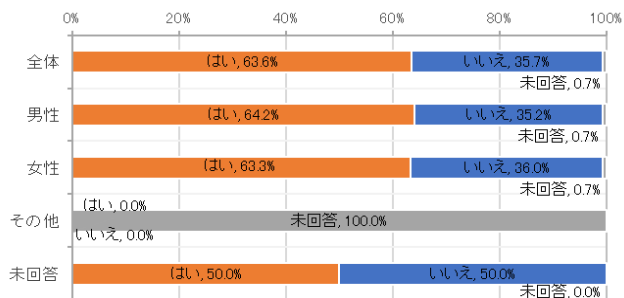


地域別最低賃金は、すべての労働者に適用されることを全体の6割超が「知っている」と回答。

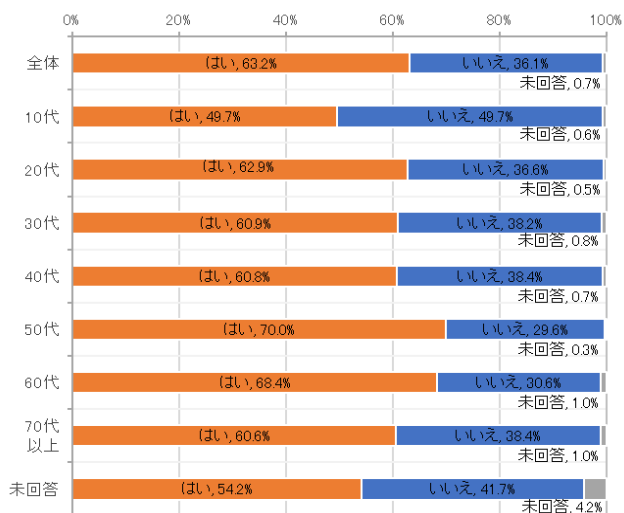
一方、10代の方の51.1%が「知らない」と回答し、最低賃金の引き上げが直接的に影響する非正規労働者と呼ばれる、パートタイマーや派遣・契約社員の方に至っては、65%程度に留まっている。また、経営者の方についても「知らない」と回答している方がおられ、知らず知らずのうちに法違反をおこす可能性がある。

少なくとも8割以上の方々に知ってもらえるよう、今後も周知活動に取り組んでいく必要がある。

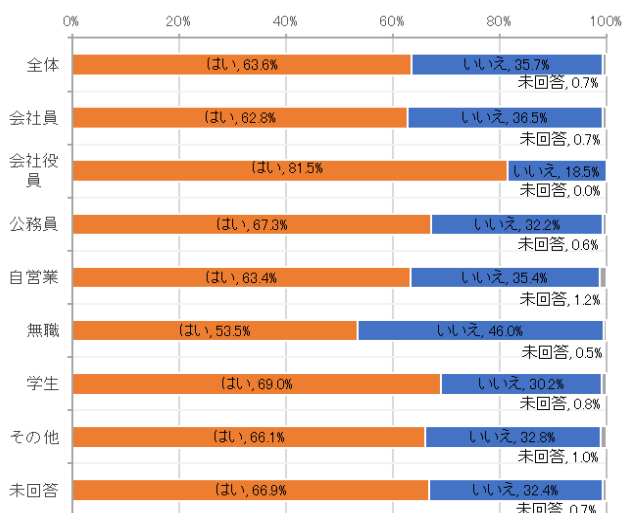
【性別】	はい	いいえ	未回答	計
全体	1,933 63.6%	1,086 35.7%	21 0.7%	3,040 100.0%
男性	885 64.2%	485 35.2%	9 0.7%	1,379 100.0%
女性	1,038 63.3%	591 36.0%	11 0.7%	1,640 100.0%
その他	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%
未回答	10 50.0%	10 50.0%	0 0.0%	20 100.0%



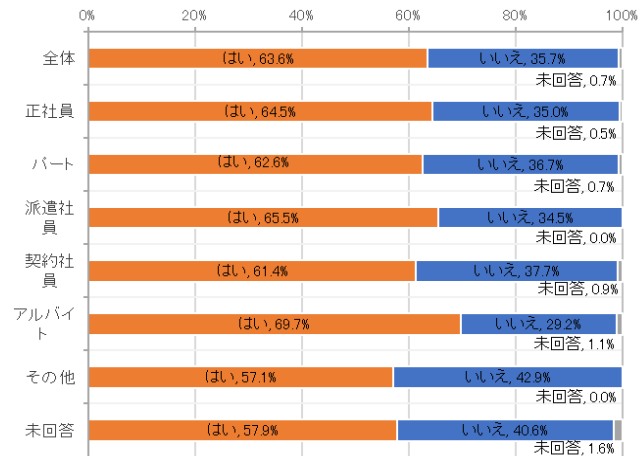
【年齢】	はい	いいえ	未回答	計
全体	1,933 63.6%	1,086 35.7%	21 0.7%	3,040 100.0%
10代	77 56.2%	59 43.1%	1 0.7%	137 100.0%
20代	361 62.9%	210 36.6%	3 0.5%	574 100.0%
30代	365 60.9%	229 38.2%	5 0.8%	599 100.0%
40代	421 60.8%	266 38.4%	5 0.7%	692 100.0%
50代	435 70.0%	184 29.6%	2 0.3%	621 100.0%
60代	201 68.4%	90 30.6%	3 1.0%	294 100.0%
70代以上	60 60.6%	38 38.4%	1 1.0%	99 100.0%
未回答	13 54.2%	10 41.7%	1 4.2%	24 100.0%



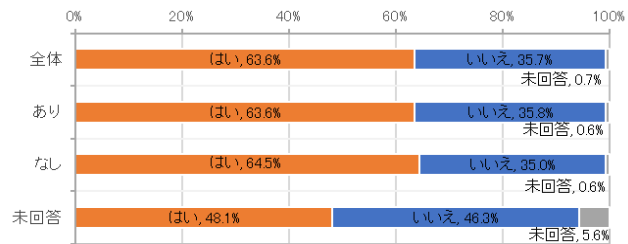
【職業】	はい	いいえ	未回答	計
全体	1,933 63.6%	1,086 35.7%	21 0.7%	3,040 100.0%
会社員	1,236 62.8%	718 36.5%	13 0.7%	1,967 100.0%
会社役員	22 81.5%	5 18.5%	0 0.0%	27 100.0%
公務員	115 67.3%	55 32.2%	1 0.6%	171 100.0%
自営業	52 63.4%	29 35.4%	1 1.2%	82 100.0%
無職	106 53.5%	91 46.0%	1 0.5%	198 100.0%
学生	176 69.0%	77 30.2%	2 0.8%	255 100.0%
その他	127 66.1%	63 32.8%	2 1.0%	192 100.0%
未回答	99 66.9%	48 32.4%	1 0.7%	148 100.0%



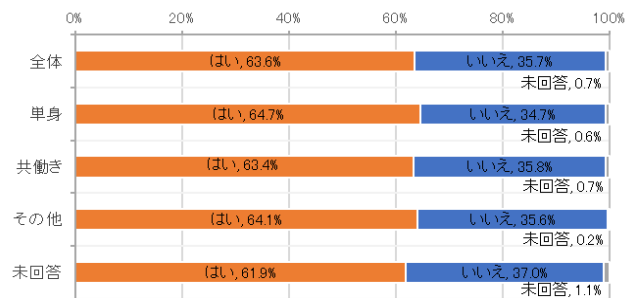
【雇用形態】	はい	いいえ	未回答	計
全体	1,933 63.6%	1,086 35.7%	21 0.7%	3,040 100.0%
正社員	943 64.5%	511 35.0%	8 0.5%	1,462 100.0%
パート	380 62.6%	223 36.7%	4 0.7%	607 100.0%
派遣社員	76 65.5%	40 34.5%	0 0.0%	116 100.0%
契約社員	132 61.4%	81 37.7%	2 0.9%	215 100.0%
アルバイト	191 69.7%	80 29.2%	3 1.1%	274 100.0%
その他	64 57.1%	48 42.9%	0 0.0%	112 100.0%
未回答	147 57.9%	103 40.6%	4 1.6%	254 100.0%



【配偶者】	はい	いいえ	未回答	計
全体	1,933 63.6%	1,086 35.7%	21 0.7%	3,040 100.0%
あり	1,256 63.6%	708 35.8%	12 0.6%	1,976 100.0%
なし	651 64.5%	353 35.0%	6 0.6%	1,010 100.0%
未回答	26 48.1%	25 46.3%	3 5.6%	54 100.0%



【世帯】	はい	いいえ	未回答	計
全体	1,933 63.6%	1,086 35.7%	21 0.7%	3,040 100.0%
単身	401 64.7%	215 34.7%	4 0.6%	620 100.0%
共働き	1,030 63.4%	582 35.8%	12 0.7%	1,624 100.0%
その他	268 64.1%	149 35.6%	1 0.2%	418 100.0%
未回答	234 61.9%	140 37.0%	4 1.1%	378 100.0%



Q9. 最低賃金に関するご意見・ご要望がありましたら、ご自由に記載下さい。

【組合員回答】

- (1)最低賃金を引き上げ、日本全体の賃金を、引き上げるべき。
- (2)最低賃金を上げ、世間の水準を底上げすることが我々個別の賃金アップに繋がるものと考えます。ぜひ最低賃金のアップを望みます。
- (3)日本も格差が広がりがつある。真面目に働く労働者が辛い思いをしなくても済むように最低賃金は1,000円以上にすべきである。
- (4)毎年100円ずつぐらいUPすべきだ。でないと、田舎の福井では、パートやアルバイトが集まらない。人手不足の職場。
- (5)賃金が低いので一人暮らしができません…。是非引き上げをよろしく願います。
- (6)福井県はローカル賃金であるため、共働きをしないと子育てや、生活が出来ませんよね！
- (7)830円×8時間×20日＝132,800円。あなたは、家族もいない独り暮らし。1ヶ月間、そのお金で生活出来ますか？
- (8)最低賃金決める人たちが、一年間最低賃金で暮らしてみればわかると思います。
- (9)最低賃金が少ないと生活もままならず、消費にも貯蓄にも回らないので、上げるべきだと思う。
- (10)地域によって家族構成や生活スタイルなど、様々な条件によって必要なお金の額が異なるため、最低賃金には家族構成に応じて区分した考え方を導入する必要があると思います。
- (11)福井は他県に比べて給与水準が低い。その為共働き率が高い。その上最低賃金まで低いとなると、福井を出る人が増え、ますます住みづらくなると思う。経済はお金を回すことが大事。起爆剤、トリガーとなるように最低賃金くらいは高水準であってほしい。
- (12)コロナ禍の今こそ最低賃金アップが必要だと思います。
- (13)底上げは望ましいがコロナ禍なので企業の維持も重要
- (14)コロナ禍の影響を大きく受けている業種(医療・保育)で働いているパート労働者の賃金改善をして欲しい！！
- (15)コロナ禍の影響で企業側も賃金を上げづらい状況だと思いますが、少しでも労働者が報われるといいなと思います。ただ、「2020年度の最低賃金引上げ額1円」は、働きながら貧困に苦しむ方々には厳しい数字だと感じました。
- (16)福井県の最低賃金がこんなに低いと思いませんでした。
- (17)福井県って周りの県に比べて、こんなに低いのだと驚きました。
- (18)金額の理由が分からない。理由を教えてください。それで納得いくならいいと思う。地域ごとの水準が違うなんて当たり前だし、ただここまで差があるのは無いと思う。
- (19)東京でアルバイトする賃金より、福井の正社員賃金が安いことがあり得ることが理解できない。若い人たちが帰ってこない。
- (20)せめて周辺5府県と同水準位になってほしい。
- (21)福井の最低賃金が830円とは、以前TVでみましたが、隣接する他県中での比較を見て驚いた。もう少し上がってほしい。
- (22)食品、ガソリンなどの出費や保険料が上がっているのに、最低賃金が上がらないことが問題です。
- (23)車の保険料、維持費を考えると今の賃金では自分のことで手一杯になる。そうすると若い人は、賃金の高いところに流れていき、県外へ出る人が増える。その結果、過疎化していく。
- (24)他県と比べ、明らかに低いのは納得できない。家賃や土地が安いのはあるかもしれないが、公共交通機関が少なく、自動車保有が当たり前(税金や維持費が必要)など、福井ならではの問題がある。昔から共働きが当たり前の土地柄と言われてきたが、共働きしないと生活できない環境が昔から続いているとも言える。最賃を少しずつでも上げていってほしい。
- (25)賃金水準について職務内容によって様々だと思いますが、最低賃金が上がることで全体の底上げになることを期待します。
- (26)最低賃金が低いと就労意欲の低下になるので上げるべきだと思います。
- (27)非正規労働者の方々が生活に困らない最低賃金を保障してほしいです。
- (28)非正規労働者は福利厚生面で、正規雇用の労働者との格差が大きい。せめて賃金を上げて、その差を埋めてほしい。
- (29)正社員、パート、派遣との格差はなくしてほしい。社員と同じ時間働いていて、ずっとパートの人の話を聞くとか何とかならないのかと思う。
- (30)同一労働同一賃金という考え方が良しと思う。物価(食品の価格上昇や中身の減少など)が上がっただけの給料は必要だと思う。しかし、コロナで倒産するほど厳しい現状では、会社が良くなるまでは見込めないのではと絶望感が大きい。
- (31)物価が上昇しているのに、賃金が最低だと消費が進まない。生活がぎりぎりの為、人口が減るばかりである。
- (32)ただ上げればいいと言うものではない。県内の物価、指標を元に、適切な水準はなにかを見極めてほしい。
- (33)県で決めるのではなく、市町村単位などで決めて欲しい。敦賀市は物価が高すぎる。
- (34)失業率悪化を抑制するため、現状維持すべき。
- (35)最低賃金をあげることは必要かもしれないが、経済状況等を考慮することが重要。更に矛盾するかもしれないが、正社員を増やしていく努力がもっと大切だと思う。
- (36)一気に最低賃金を上げる事で、韓国みたいな雇用崩壊、失業率の激増を招くことの無いようにする必要がある。
- (37)雇用側、労働者側、お互いの立場があり、賃金についても見通しや会社経営などいろいろな考え方をしないといけないと思う。
- (38)最低賃金が低く困る労働者がいる一方で、最低賃金を引き上げると苦しくなる企業があることも考えられるので、うまく両者の要求の落としどころを見つけることが重要なかなと考えた。
- (39)最低賃金の引き上げは必要と考えるが、賃金を支払う側にも何らかのメリットが発生するようにしていく必要もあるのではと考える。
- (40)最低賃金が低い分、福井県内で生活する上で、県が独自に地域が活性化する取り組みを行っているようには感じない。なので、個人にお金の配分が行くように、最低賃金の引上げは、急ぐ必要はあると思う。隣接する地域と差がある事にも、納得がいかない。
- (41)組合の声をもっと聞いて運動してほしい。
- (42)連合は派遣会社、個人事業者に対し働き方に関する法律改正に向けた取り組みを先頭に立ち行うべきである。
- (43)最低賃金に関するニュースが少ないため、おそらく多くの人が現状を把握できていないと思われる。
- (44)現状を知らなければ判断できないので、分かりやすい動画や冊子があれば、もっと意見も出てくると思います。
- (45)賃金に関するルールや自分自身の賃金を知ることはとても大切なので、どんどん情報発信をしていくべき。
- (46)私自身があまり関心を寄せていないことが問題だと思う。認知度をもっと上げることが大切と思う。
- (47)普段あまり考えていませんでした。最低賃金についてのPRがもっとあると良いと思います。
- (48)最低賃金のことはニュースで聞いたことはありますが、あまり気に留めていませんでした。これからはもっと関心を持ちたいと思います。
- (49)一概に最低賃金を上げる事には賛成できない。提示された賃金に納得できないのであればそこで働かなければよいと思う。
- (50)四国出身です。福井は、愛媛より田舎で物価もたいして変わらないのに30円も高い。要するに十分だとも思います。県によって差があるのはよく分かりません。全体で考えていくべきだと思います。

【一般回答】

- (1)労働力が不足するなかで最賃の引上げは必要だと思う。
- (2)福井県民として、最低賃金が少しでも引き上げられることを心から願っております。
- (3)とにかく賃金が安すぎます。せめて1,000円にしてほしいです。
- (4)900円～1,000円の間まで上げてもらいたいです。正規・非正規に関わらず、生活が厳しいからです。
- (5)最低賃金が1,000円になってもほとんど影響しないと思う理由について、現在の最低賃金が安すぎるため、多少の賃金が増加しても消費に大きな影響は与えられないと思います。ただ、一気に賃上げをすると経営的にも大きな負担になるので段階的に賃金は上げるべき。
- (6)「働いてもこの給与なら生活保護の方がマシと思わせないような賃金にすべき。
- (7)最低賃金を決める人たちは、最低賃金830円で8hフルタイムで20日間働いて月13万2800円で生活出来るんですか？って言いたい。
- (8)フルタイムで働き、税金を引かれて月10万ほどで、生活するには厳しい額。生活できるレベルまで上げてほしい。
- (9)1人暮らしを最低賃金でやろうと思った時に可能か否かを考えた上で、最低賃金の計算をしても良いのではないかと思います。
- (10)働いてもワーキングプアなのはおかしい。もっと暮らしが良くなるように、国からの保障の充実を約束してもらいたい。「働いても貧困」のグラフがすごいショックだし、意味が分からない。希望が持てるような社会にしてほしい。
- (11)暮らしにくいことは無いと思うが、他県の物価も考慮すべきだとはいえ、格差を是正すべきではないかと考える。
- (12)生活保護世帯と同じ時給換算では矛盾を感じるし、年収200万円以下で生活するのは難しい。子育て世代は、特にそう思う。
- (13)金利も低いまま消費税は上がり、コロナの影響もあり職を失ったり、貯蓄どころか賃金は上がらず消費だけが増えていく。何とかして！
- (14)福井は世帯主(男性)の賃金が高いので共働き率が高く、女性の負担が多い。幸福度No.1といわれるが、女性にはつらい県。我が家も年収で100万円以上下がり生活が大きく変わった。残業代ありきではなく、基本給を上げてほしい。
- (15)正社員で働きたくても働けない家もあると思う。そんな中で子どもを抱えている家庭では、たくさんの費用が掛かります。ただでさえ共働きが多い福井では、収入が少ないからこそ共働きをしている、と私は思います。今以上に最低賃金が下がれば子どもとの過ごす時間を削ってでも働かないと収入が足りないとすれば、幸福度No.1とは言えないと思う。
- (16)コロナ禍を機に地方の人手を増やすためにも、増額を希望します。
- (17)働き方が変化するからコロナ禍が終わるまで最低賃金について考えるのは難しい。
- (18)最低賃金より雇用を優先した方が良いのではと考えます。コロナ禍が収まって、経済が安定してから最低賃金を検討していくべき。
- (19)このコロナの中で、命がけで仕事している介護士、保育士、看護師などには、もっと時給を上げるべきだと思う。
- (20)コロナ禍の時こそ、経済をまわすため、最低賃金を引き上げるべき。政府方針(平均1,000円)に沿った対応を。
- (21)今現在のコロナ禍において、会社も社員も苦しいので最低賃金を上げるべきかどうか分からない。
- (22)コロナ禍の影響を受けている業種の経営者も同様に収入が減り、厳しい状況にある。最低賃金の見直しも大事ですが、そういう状況下にある経営者のことも考える必要があると思います。
- (23)都道府県でこんなに差があることにびっくりしました。もっと福井県も最低賃金を上げてほしい
- (24)県により最低賃金が違うことを知らなかった。地元の雇用を増やすためにも、福井県の最低賃金の引き上げに頑張ってほしい。
- (25)働いていても賃金が上がらなければ生活水準も上がらない。地域格差を見直す努力をお願いします。
- (26)福井県は、関西の都市圏にも近く、もう少し周辺府県のレベルに合わせるべきだと思う。
- (27)福井県が周辺の県よりも最低賃金が低いことを知りませんでした。せめて、近隣の県と足並みをそろえてほしいです。
- (28)娘が二人います。長女は賃金が少しでも高い滋賀県で就職しました。福井県は少し安いと思う。最低賃金が上がれば県内で就職する人が増えると思います。
- (29)百貨店、総合スーパーなどの業種は特に低いと思う。コロナ禍であってもなくても、忙しい時期がくるので考慮した方がいいと思います。
- (30)繊維・紡績業の賃金レベルは常に最低ラインにあるが、現場では心身ともに厳しい状況にあり、最低ラインに位置づけられていることに疑問や不満があります。福井の経済を支えている繊維業の賃金アップを望みます。
- (31)従業員のモチベーションUPのため、賃金の引き上げは重要と思います。
- (32)賃金と雇用はどちらも守ってもらわないと生活できません。最低賃金が上がったとしても、非正規のままでは安心が担保されません。
- (33)最低賃金の引き上げによって、大きく影響を受けるのは非正規労働者の方が多い飲食業だと思うが、飲食業はコロナ禍の影響で経営が危うくなっていると思う。したがって、彼らの意見を聞くことも必要だと思う。
- (34)最低賃金が安い状況で、生活を成り立たせるのは非常に困難です。また、職場の中で一人だけ安い最低賃金で働かなければいけないことは非常に辛いことです。安定した最低賃金の引き上げを強く望みます。
- (35)国のサポートは偏りがありQ7で言われているように、非正規労働者が一歩弱い立場にあると思います。他府県に比べて何故ここまで低いか疑問です。もっと上げるべきではないでしょうか！もっと働きがいのある福井県にしてほしいです。
- (36)福井の物価は決して安くありません。そうした状況も考慮が必要だと思います。若者が県外へ出てしまうのも仕方ないのかも知れません。
- (37)福井県の物価の高さと最低賃金の低さが合っていないと思う。
- (38)福井県は他地域と比較して物価が非常に高いのです。共働き率全国1位なのは良い事である反面、共働きでなければ生活できないという側面も大きいと感じます。物価、高燃費が高いことを考慮すれば他の都道府県より高くても当然ではないか。
- (39)パート、アルバイト募集で780円とでかかど表示してあるのを見たが、違反しているって事？賃金が安い割に物価は高いように感じる。賃金が安い割にアパレル、コンビニ、ファミレスも都会と同じ値段は変。
- (40)賃金が低いのは困るが、勤務先の経営が厳しくなり倒産や賃金カットはもっと困る！！
- (41)経営に若干関わる状態で、賃金を引き上げることが経営を圧迫するのが、目に見えている。
- (42)福井県の賃金がアップすれば、労働者が増え、人口の増加にもつながる。
- (43)先進国の中で最低賃金が一番低いと聞いています。これでは将来の日本はお先真っ暗です。
- (44)最低賃金を上げないなら消費税を廃止するか減税。将来的に消費税を上げるなら、最低賃金も底上げしないと、消費行動がおさえられ税収も少なくなると思う。
- (45)コロナ禍での賃金増は、経営者にとってかなりの負担になると思うが、消費も増え経済状況は少しでも良くなると思う。賃金増については経営者だけに任せるのではなく、行政が負担し賃金upを進めていけばと思う。
- (46)連合福井は「非正規でも時給1,000円を目指す」とよく言われていますが、正規職でも時給1,000円未満の人が福井には多数います。すべての人が1,000円以上になるよう頑張ってほしい。
- (47)最低賃金引き上げキャンペーンを大々的に企業側にアピールするため、TVCM等を利用してみるのも良いと思う。知らない企業もいるのではないのでしょうか。
- (48)有効求人倍率が全国1位の福井県が、なぜ最低賃金が安いのか？最低賃金が決められている理由(社会的な構造・政治的背景?)を明確にしていくことが大事かと思っています。

2021 年度最低賃金アンケート結果 全体考察

1. 全国および福井県最低賃金の水準や課題の周知、認知度の調査を目的に実施した今回のアンケートでは、当初、近年の最低賃金の大幅な引き上げ、実際に支払われている賃金額に近づいてきたことを背景として、最低賃金の認知度は高くなっていると思われていた。しかし、アンケート結果では、福井県最低賃金額（時給 830 円）を知っているかの問いに対して 6 割の方が知らないと回答。特に、20 代、男性、正社員というカテゴリーの方が「知らない」割合が高くなっており、この事は、マスコミ報道など最低賃金額を知る機会があっても、時間給や時間単位で働いていない正社員層では関心が薄く、結果的に「知らない」割合が高いと思われる。そして、労働組合を通じて最低賃金に関する情報を一般の方よりも得る機会があるはずの組合員が、一般の方よりも「知らない」割合が 5 ポイントも高いことも同様の理由であろう。
2. 最低賃金の水準については、生活する上で最低必要な賃金の金額として、900 円以上と回答した方が全体の約 4 割、1,000 円以上と回答した方は 3 割となっている。これは連合が独自に算出したリビングウェッジ（労働者が最低限の生活を営むのに必要な賃金水準）の福井県時間額 950 円とほぼ一致している。このことは、生活を営むのに必要と考える金額と、現行の最低賃金額との差があることで、全体の 8 割の方が最低賃金額 830 円を「低い」と回答した要因であろう。
3. 2020 年度最低賃金の引上げはコロナ禍の影響により 1 円の引上げになったが、コロナ禍の影響を大きく受けているのは、最低賃金近傍で働く非正規労働者の方と言われることから、“コロナ禍にあっても最低賃金は引き上げるべき”と約 7 割の方が回答している。特に、パートや派遣社員の方から、雇用維持も重要だが、直接的に処遇改善につながる最低賃金の引き上げを切実に求めている声が多く届いている。
4. 福井県の最低賃金額が隣接する県より低いという実態について、福井県の隣接するすべての府県よりも「低い」ことに、全体の 7 割が納得いかないと回答。現行の最低賃金制度においては、地域ごとに最低賃金額を決定することとされているが、地域経済や雇用環境によっては地域ごとに多少の差が生じることは止むを得ないとしても、隣接府県との差や全国平均額との格差が年々拡大していることは、他県への労働力の流出などによる労働力不足を増大させるなど、企業にとっても大変重要な課題である。
5. 地方最低賃金の改正は、県内の経済や雇用状況などを踏まえ、公益委員（学者や弁護士など）と労働者代表、使用者代表で構成する福井地方最低賃金審議会にて改定額が決められる。最低賃金法第 3 条において最低賃金は『①労働者の生計費、②類似の労働者の賃金、③通常の事業の賃金支払能力を考慮して定められなければならない。』と定められており、③通常の事業の賃金支払い能力とは、使用者側代表が主張する個々の企業の賃金経費の負担能力ではない。そのような主張により、結果として福井県最低賃金の引き上げが遅れることは、地域経済の活性化や人口流出の観点からも大きく県益を損ないかねない。連合福井は、公労使各委員が最低賃金制度の果たす意義・役割を再確認した上で議論を尽くし、最低賃金法第 1 条に定める目的「労働者の生活の安定、労働力の質的向上及び事業の公正な競争の確保に資するとともに、国民経済の健全な発展に寄与すること」が達せられる金額改正が行われるよう審議会に求めていく。

以上